

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	通所・訪問・宿泊などを柔軟に組み合わせ、一人一人のニーズに合ったサービスを提供します。その方の想いに寄り添った支援を日々心掛けています。介護職員は法人の理念に基づき、専門性を活かせる研修を受け、知識や技術の向上に努めています。また、法人所属の看護師・音楽療法士・理学療法士による専門的なケアを定期的に提供し、ご利用者の意欲向上や活性化に繋げています。介護職員は専門職と連携し、在宅生活が少しでも長く続けられるよう支援しています。「担当制」を導入し、ご利用者一人一人の気持ちに寄り添う個別支援に力を入れています。また、地域に根ざした事業所を目指し、地域との関係作りにも力を入れています。コロナ禍ではありますが、毎日の生活が充実したものとなるよう、事業所内での楽しみ確保にも努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 三田	管理者	山田 千春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	1人	0人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価「できていない点」では、特になしと記載したが、次年度からは、心掛けや、よりよい事業所となるための目標を記載していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有では、入職間もない職員は、ご利用者の背景・利用開始した経緯等を情報シートや連絡ノートを活用し把握に努めているが、文章だけでは把握しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・入職間もない職員が、情報収集で困らないよう、OJTの中でご利用者の特徴などを含む情報を伝えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が気持ち良い対応だと感じていただけるように、職員間でも注意し合い、高め合う。また接遇研修も継続して実施する。 ・事業所の環境が、ご利用者の安全・安心にも繋がっている事を全職員が意識し、今後も環境整備担当を中心に4Sに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4、4月「事業所の特徴・事業所に必要な接遇」について研修を実施した。 ・新人職員の入職時に接遇や電話対応の研修を実施した。 ・環境担当が率先し、事業所の整理整頓に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースもしっかりあり入りやすいと思う。 ・便りから心地よい空間を感じる事ができる。 ・周りに商店があり賑やかな環境であるが、事業所の周りは静かでよいと思います。 ・いつも鍵はかかかっていなく、直ぐに対応して下さる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入りやすく、清潔感を感じられる事業所となるように、気持ちの良い挨拶や環境整備に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のある地域の民生委員やご利用者が住む地域の民生委員と連携を図る。 ・地域行事が開催された際には、地域向けに健康づくりに関する体操や食事、専門的な情報などを発信していく。 ・幼稚園や保育所との交流会を継続し、世代間交流の機会を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居の方など必要な方には包括支援センターや民生委員と繋がり、支援できている。 ・地域の民生委員とは、定期的に連絡を取り合い情報交換している。 ・幼稚園や保育所の直接交流はできていないが、プレゼント交換という形で交流している。 ・近隣短期大学の実習生を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は送迎時、気持ちの良い挨拶を意識されており、事業所内での様子も伝えてくれる。 ・小規模三田と言う事業所を知ってくれた方が増えたと思います。 ・困った時はいつでも相談にのって下さり、相談しやすい環境です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な方には包括支援センターや民生委員の方と繋がり支援していく。 ・事業所のある地域の民生委員とも定期的に連絡を取り合いコロナが終息した際には、地域行事や事業所のイベントに参加していただく。 ・幼稚園や保育所との交流は、ご利用者の活性化に繋がるため継続する。

			<ul style="list-style-type: none"> ・今はコロナ禍のため中止しているが、地域の行事もお手伝いして下さり、感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライやるウィークや実習生の受け入れでは、将来社会で活躍するイメージのきっかけとなるよう、介護の魅力を伝えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要な際にはご利用者の情報を共有し対応していく。 ・ご利用者が住む地域の行事が開催された際には、ご利用者が参加できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の相談があり、利用開始前から地域の民生委員と繋がる事でスムーズにサービスの開始ができた。 ・ご利用者を取り巻く成年後見人・地域の方・包括支援センター・生活保護課と密に連携し支援している。 ・地域行事は開催されておらず参加していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントやドライブ等、事業所内での楽しみ確保を充実させていただきます。 ・地域での相談や連絡を取り合い、とても助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要な際には情報を共有し対応していく。 ・ご利用者が住む地域の行事が開催された際には、ご利用者が参加できるよう支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため書面会議となっても、事業所の取組みは広報誌等を活用し伝える。各メンバーからいただいた意見は運営に反映していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議であっても、広報誌などを活用し、事業所の様子を伝えた。書面の中でメンバーからの発信事項を報告し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議など、書面ではありますが細かく伝えて下さっています。 ・今までもずっと地域との関わりを大切にしていると思います。 ・常に問題点があれば改善に向けて取り組まれていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議であっても事業所の取組みは広報誌等を活用し発信していく。 ・各メンバーからいただいた意見は運営に反映していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・三田市にある同法人事業所と連携し、備蓄品を確保する。 例) 三田は清潔物品、他2事業所はオムツ類・食料品等 ・役割分担表は随時更新する。もしもの時は予定通りにいかない事も想定し、担当以外の役割内容も把握する。 ・コロナウイルス感染症が終息した際には近隣の店舗にも参加と協力をいただき合同で訓練していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の同法人事業所でオムツ類を備蓄し、ローリングストック法を活用しながら管理している。 ・役割分担表を作成しているが、万が一の際には出勤職員も違うため自身の担当以外の役割についても把握する機会を持った。 ・9月の消防訓練では消防署員にも参加してもらい指導してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした防災計画が出来ていると思います。いざという時にとても役立つと思います。 ・南区は災害が起きた際、避難所の開設は民生委員から連絡します。感染防止に考慮しながら、11月に防災訓練を行いました。以前は講師として来て下さっています。 ・災害時等を想定し、細かく準備され、いざという時に慌てないように訓練されていて頼りになると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の防災・災害訓練を継続し、もしもの際に備える。 ・コロナウイルス感染症が終息した際には南区の防災訓練にも参加する。